

令和3年度村上地域区長会連絡協議会要望事項回答

1 村上駅周辺の整備・開発等について

村上駅周辺の状況は、村上総合病院移転後の跡地などが存在することに加え、将来的には村上地域振興局の撤退も考えられます。駅周辺の空いた荒廃地は、景観を損なうだけでなく、地域振興の停滞や経済的不安など、村上の荒廃感を助長させるものと危惧されます。今後の駅前周辺の整備・開発について市の考えをお聞きします。人口減少に歯止めがかからない中、若者や子育て世代に対して魅力あるまちづくりが強く望まれます。小手先の対応ではなく、先見性や将来を見越した整備・開発計画を要望します。

また、村上総合病院の移転により、周辺住民や駅・病院利用者などからJR村上駅西口の開設を望む声が大きくなっています。今後、市とJRの連携により、跨線歩道もしくは地下歩道の敷設について検討をお願いします。

【回答】

村上駅周辺のまちづくりについては、村上駅周辺まちづくりプランを基本に現在も関係機関と検討・調整を進めている他、これまで2回に亘って地元田端町区の方との行政懇談会を開催し、地域の方々から貴重な意見をいただいたところであります。

旧村上総合病院跡地の解体に向けてのスケジュールではありますが、今年度JA厚生連において、敷地の土壌汚染調査を行う事としており、その後の建物等の解体はこれまで令和5年度と伺ってきましたが、今年度に入ってから協議では、令和6年度に変更となり、土壌汚染調査の結果によってはそれ以降になる予定との報告を受けております。

旧村上総合病院跡地や旧ジャスコ跡地における大規模跡地の利活用は村上駅周辺まちづくりプランの32項目の内、核となる事業と考えており引き続き官々連携や官民連携による利活用が図られるよう関係機関や地元関係者と協議を進めてまいります。

同じく、村上駅東西を結ぶ連絡通路や駅東口・西口の駅前広場整備につつま

しても、駅東西のネットワークとなる有効な施設となりますので、引続き JR 東日本や地元関係者との協議を進めてまいりたいと考えており、駅周辺のまちづくりのグランドデザインを近年中にはお示しできるよう進めてまいります。

(問合せ先：都市計画課)

2 『みなとオアシス越後岩船』関連要望事項

平成 28 年度に岩船港エリアが『みなとオアシス越後岩船』として登録されました。

『みなとオアシス越後岩船』は岩船地区から瀬波温泉地区までの海岸線に位置し、「岩船港緑地」・「岩船港直売所」・「栗島汽船営業所」・「岩船港海岸（岩船海水浴場から瀬波海水浴場までの海岸）」をはじめ、すばらしい自然や多くの観光資源に恵まれております。地元でも各種イベントの開催や、一昨年に緑綬褒章を受章した一斉清掃などの環境美化活動にも力を入れております。

つきましては、『みなとオアシス越後岩船』登録により、更なる交流人口の増加を図るべく、下記の 2 項目につきまして、昨年に引き続き要望いたします。

(1) 旧市民会館跡地等の有効活用について

現在、旧市民会館は閉鎖され、日本海スケートボードパークとして利用されていた体育館部分も一昨年 4 月の『村上市スケートパーク』のオープンに伴い現在は利用されておられません。

また、旧市民会館奥には『いこいの森児童公園』があり、休日には市内各地から親子連れが訪れてたいへんにぎわっております。

今年開催された東京オリンピックではスケートボードが新たな競技に加えられ、日本人選手の活躍により人気が一気に高まったことから『村上市スケートパーク』を含めた旧市民会館一帯は観光においても地域内外の人々の交流の場としてもますます重要なスポットになりました。

今後は旧市民会館跡地に新たな遊具を設置するなど、恐竜公園と一体化した家族が無料で楽しめるエリアを創設し、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地には日本海を一望できる休憩所を整備するなど、『村上市スケート

パーク』に隣接した新たな観光・交流スポットとして『みなとオアシス越後岩船』エリアにより多くの人を滞留させられるよう、土地の有効活用を要望します。

【回答】

ご要望の旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地を含めた旧市民会館及びいこいの森児童公園一帯のエリアは隣接する瀬波温泉からも近く有効活用することで瀬波温泉から岩船港までのさらなる魅力向上が期待できるものと考えております。

他方、このエリア内には民有地もあり、市として一帯とした利活用策を講ずることには制約がありますが、土地の利用価値を高め、有効活用につながるよう老朽化した施設を解体するなどし、民間活用を促すことなども含めて周辺エリアの土地の有効活用に努めてまいります。

(問合せ先：観光課、生涯学習課)

(2) 諸上寺公園の整備について

諸上寺公園には多くの桜が植樹され、春には見事な八重桜が見られることから、桜の名所としても知られています。当地区は『みなとオアシス越後岩船』の瀬波温泉地区と岩船地区の中間に位置し、登り口から頂上の諸上寺公園まで、道路に沿って八重桜が咲き誇る様は、さながら桜色の龍が頂上へと駆け登っているかのようにもあります。旧村上市時代には、植樹や追肥等を行い維持管理がなされてきましたが、合併後は十分な管理が行われておらず、枯れ始めた木も見受けられます。諸上寺公園が今後も桜の名所として、市民や『みなとオアシス越後岩船』を訪れた観光客に親しまれるように、計画的な桜の苗木の植樹や下草の伐採など必要な維持管理を要望します。

また、以前設置されていた諸上寺公園の展望台は『みなとオアシス越後岩船』エリア内随一の高さを誇り、屋上からはエリア全景を見渡すことができ、晴れた日には遠く粟島を望むことができましたが、老朽化のため使用禁止となり平成29年に解体されました。その後簡易な展望デッキが設置されましたが、従

来のような眺望を望むことが出来ません。『みなとオアシス越後岩船』を中心とした観光振興の面からも、新たな展望台の設置と、併せて老朽化が著しいトイレの建て替えを要望します。

【回答】

諸上寺公園の桜については、折れた枝への薬物散布や支障木の伐採の実施、桜植栽地や遊歩道を中心に下刈りを行い引き続き市民や観光客に親しまれる公園として維持管理を実施してまいります。また、苗木の植樹についても計画的に実施したいと考えております。

展望デッキについては、平成 30 年度に設置したのですが、従来の展望台よりも低くなっております。更新についても検討してまいります。まずは前方の桜の枝の伐採などにより眺望の改善に努めてまいります。

当該トイレについては平成 10 年度に設置されたのですが、市内には屋外に設置されたトイレが 50 か所程度あり、設置から 46 年経過したものもあります。市では順次更新等について検討してまいります。

(問合せ先：観光課、環境課)

3 環状 3 号線の早期開通について

瀬波温泉トンネルから先の環状 3 号線については、地元の瀬波地区のみならず、他地区からも長年にわたり要望が出されており、村上市都市計画マスタープランの中でも広域幹線道路に位置付けられている重要な路線です。この瀬波温泉トンネルから先の環状 3 号線について、平成 15 年 8 月に当時の村上市長と村上土木事務所（現在の新潟県村上地域振興局地域整備部）に瀬波地区区長が連名で環状 3 号線の早期開通の要望書を提出しており、それ以降も早期開通の要望を繰り返しております。

しかしながら、同路線に大きな影響を及ぼす村上総合病院が昨年 12 月に移転・開院し、それに伴い県においては、村上総合病院へのアクセス道路としての松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道 345 号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況です。

平成 28 年 6 月の村上市議会第 2 回定例会の一般質問において瀬波温泉トンネル先線の整備に関する質問が提出され、市長は「瀬波温泉トンネル先線の整備を行うことは、村上駅西地区や新築される村上総合病院などへの山北からの海岸線沿線地区や瀬波地区からのアクセスの向上、村上駅西地区内の移動の円滑化が図られるほか、村上駅周辺のまちづくりにおいても重要な路線であると考えられます。今後もこれまでおこなってまいりました通常の要望活動に加え、岩船郡村上市土木振興会からも強く関係機関へ要望活動を行ってまいりますとともに、整備手法につきましても県と連携を図りながら研究・検討を行ってまいります。」と答弁しています。

また、昨年 9 月開催の村上市議会第 3 回定例会でも同様の質問があり、市長は「要望活動は行っているが、県からは松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道 345 号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況であるという回答を受けているが、引き続き要望していく」と答弁しています。このことから市としても重要な路線と位置付けているということで、新潟県に環状 3 号線を事業化してもらい、実施年度などの事業計画を示す必要があると思われれます。

この懸案事項である環状 3 号線の早期開通に向けての事業化と事業実施年度の明確化を強く要望いたします。

【回答】

都市計画道路「環状 3 号線」瀬波温泉トンネル先線の未整備区間につきましては、これまでも県に強く事業化の要望を行ってまいりましたが、県では整備の必要性や効果の客観的な整理が必要との考えから、なかなか進展しない状況にあります。

昨年 12 月の村上総合病院移転を機に、駅西側市街地では商業施設の出店や宅地開発など、今後はさらに活性化が進み、人や車の流れが多くなっていくことが想定されます。県には、現在最優先で進めていただいております松山バイパスの早期全線開通と併せ、瀬波温泉トンネル先線の事業化につきましても引き続き要望してまいります。

(問合せ先：都市計画課)

4 山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の改修について

山辺里体育館は、昭和 54 年 7 月の建築から 40 年以上が経過し、スレート屋根の剥離や老朽化による雨漏り、外壁や鉄骨の腐食・劣化・ひび割れ、内壁の損傷・汚れ、そして床の劣化など老朽化が顕著であり、また給排水設備やトイレも利用できない状態です。

しかし、この体育館は地域内外のスポーツ愛好者の利用をはじめ、市内の各種団体など、子どもから高齢者まで多くの利用があり、令和 2 年度の実績は、利用件数 608 件、利用延べ人数 6,112 人となっています。

今年度も昨年度に引き続きコロナ禍のため中止となりましたが、毎年 4 月に開催している山辺里地区敬老会の会場としても地域に親しまれている施設であり、東日本大震災の際には、救援物資の保管施設として、また、今年度は新型コロナワクチンの集団接種会場の一つとして利用されるなど、村上農村環境改善センターと一体となった地域の重要な拠点施設となっております。

したがって山辺里体育館は、山辺里地区及び村上市のスポーツ振興、協働のまちづくりの推進、そして地域の安全・安心な市民生活のためには、必要不可欠な施設でありますので、廃止は行わず大規模改修または改築されるよう強く要望します。

【回答】

廃校施設を活用している体育館は老朽化したものが多く、山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）についても老朽化が進みその都度、必要最小限の部分的な修繕にとどまっている現状です。市が進めている公共施設マネジメントプログラムの施設別計画において、山辺里体育館は市スポーツ施設整備計画に基づき管理運営をすることとしており、現在、市スポーツ施設整備計画の更新作業を行っております。

市としても山辺里体育館は地域活動や各種事業で活用され、地域にとっての拠点施設であることは認識しており、体育施設としてだけでなく、地域のコミュニティ活動の拠点施設としての面からも今後の維持管理について検討をしているところです。

（問合せ先：生涯学習課、自治振興課）

5 有害鳥獣駆除後の適正処理について

上海府地区における熊、猪等の有害鳥獣の駆除件数が増加しております。

環境保全の観点から駆除後の個体を可能な限り処理施設まで搬出し、廃棄物として処理することが市町村の責任と考えます。

しかしながら、捕獲者や地区住民が自ら捕獲場所等で解体処理を施し、区有地等での埋設が現状である実態を踏まえ、有害鳥獣駆除後の適正処理方法の検討をお願いします。

【回答】

駆除後の有害鳥獣は主に区有地等への埋設により処理していますが、駆除件数の増加からも従来の方法ではすぐわなくなってきたのが現状であり、実態を踏まえた処理方法が必要となってきました。適正な処理を行うためには新潟県の環境センターや地元猟友会など関係機関との連携が必要なことから、これらの機関と協議しながら、より有効な処理方法の検討を進めてまいります。

(問合せ先：環境課、農林水産課)